



週報

Weekly Report, Gujyo nagaragawa Rotary Club

D2630 郡上長良川ロータリークラブ

第47期クラブテーマ

地域社会と共に！
～輝け オンリーワン～

第47期 2024.7～2025.6

会 長：山下 誠
副会長：羽土 洋司
幹 事：石徹白秀也



3月 ひなまつり

例会日：毎週水曜日 18:30 (6月～9月末 19:00)
例会場及び事務所：白鳥町農業指導センター 2F
TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191
E-mail:gsc@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

第 2187 回

令和 7 年 3 月 5 日 (水)

本日の行事

大和例会：外来卓話（鷺見 明様）

2024～25 年度

山越俊英 君 入会式

本日のお客様 「頑固屋」 代表 鷺見明様

幹事報告

石徹白秀也幹事

第 2186 例会報告

■会長挨拶

2024-25 年度 畑中知昭パスト会長

皆様今晚は、久しぶりに会長の時間を致します。

最近の仕事以外の事ですが、相変わらずイベント屋の仕事や、学校関連では毎週学校に呼ばれています。

まずは大和小学校で大きく変わったことは、皆さんのお子さんが学校に行っている時 P T A は絶対参加で役も強制的にやられたと思いますが、今は自由参加です。参加率で言うと 60%位加入しているそうです。後の人は入らないし会費も払わない、全国的にも P T A はそんな感じらしいです。かといって P T A の行事は子供が喜ぶような行事が年に何回かあって、当然子供は友達に参加すれば行きたいし、お金を払ってるのは 6 割の人だけど参加率は 98%だそうです。ほぼ全員参加になります。そこが不思議な所で、会議は主体的には参加したくない、役なんか絶対やりたくないという人が 7, 8 割いて、楽しい事には子供と一緒に参加したい。同じようなことがイベントの仕事で行くと、昨年はちょっとしたイベントでもすごい人数の人が集まってきて、イベントは大盛況です。

昨日も大和の観光協会の会議でライトアップのイベントをしてくれと言われ、4 月 5 日に明建神社でライトアップをします。去年試しにやってみた所、人の出がすごくて飲食の方が追い付かず、すぐ売り切れになってしまいました。イベントの人の寄りはずごくいいが、かといってイベントを手伝ってくれる人は中々頼めません。来年度を迎えると、白鳥のイベントも同じだと思いますが、行政の方がお手伝いを相当量少なくすると言われ、その分住民パワーで各種団体で補えと言われ、若い子に頼まないと回らないと思います。若い子の話を聞いてもつかみきれないと言いますか、誰かコツがあれば教えて下さい。来年度からはイベントをするたび、大変な思いをするんだろうなと思います。

今日は八幡から直井君が来訪されていますので、その辺りも何か良いヒントがあれば聴いてみたいと思いますので、よろしくをお願いします。

■外来卓話「郡上捺染という技法による染等について」

(株)旗将 直井将人様

皆さん今晚は、大変緊張しておりますが本日はよろしくお願い致します。

事業紹介の前に自分のプロフィールを話させていただきます。郡上が好きで、郡上に帰ってきたいと思って、学生卒業してからそのまま修行に出て、終わってから帰ってきました。学生の頃は柔道をしており、15 年ほど八幡の道場で、子供たちを見たり、中高生と一緒に練習をしておりました。最近では中々行けておりません。

スキーや魚釣りが好きで、スノーパークがオープンした時はオープニング



スタッフとしてパトロールでやらせてもらったり、身体を動かすことが好きなので、郡上なら発揮できると思って帰ってきました。

父が昭和56年からスクリーン印刷の事業を起業して、平成30年に法人化して旗将となりました。僕は平成26年の時に事業継承しまして、平成30年に法人化しました。今年で44年目の会社となります。

事業のメインはスクリーン印刷を活かした旗部門です。本社が八幡町尾崎にあります。消防・防災部門ですが、なぜか旗屋をしていて消防防災を始めてしまいました。後は旗屋と付随して染め体験部門で、八幡町本町にあります。平野商店酒蔵跡地に店舗を設けて、染めの体験を観光客にいただいています。いま3つの部門でやっています。

主軸はスクリーン印刷を活かした印刷で、簾やのぼり、のれん、後は郡上踊りで使う手ぬぐいであったり、白鳥踊りの手ぬぐいも印刷させていただいています。

なぜ染屋が消防防災なの？と皆さんに聞かれます。僕が修行を終えて帰って来た時に、とある消防商社の方と知り合いになりました。消防車につける小さい訓練とか書かれた旗がありまして、その旗を作っていたら、消防車の製造メーカーのモリタという大きな会社がありまして、年間800台ほど消防車を作って輸出もしたりしている会社ですが、新車につける旗は全部うちが作ったものですが、その業態を10年ほど続けた時、消防業界の中でも簾を作っている旗将があるということで、うちの商品も使ってくれという事で、色々な消防のメーカーやホースのメーカーさんなどの業界の方がうちの商品を扱わせてやるから使ってくれ、と色々声がかかりました。本当は商品が高くて商品が扱えなかったり、物が引けなかったりという業界ですが、割とスムーズに商品がゲットできたので少しずつですが、消防の靴だったり、消防署の物品、また行政とか自治体を通さないで扱えないものもあります。県内ではまだ営業が出来ていないので、郡上市や美濃加茂市、各務原市くらいの市場でやっています。

郡上捺染とは、僕が修行をしていたのが岐阜市にある吉田旗店といって、相撲の幟で名古屋場所の幟はほぼ作っている旗屋さんがいます。その店で染料というものを使えるようになりました。普通スクリーン印刷の布にするものはインクです。色粉を接着剤で混ぜてプリントする、Tシャツによくありますが汗を吸わないです。郡上市内殆ど布製品に印刷するのはインクです。ただうちの場合は染料を使えるというメリットがあったので、染料をスクリーン印刷で出来ないかなと考えました。スクリーン印刷というのは粘り気があるインクで刷るものですから、刷った時に文字や柄が出るんです。水をベタベタにするとにじんでしまって柄が出ません。染料を海藻の粘り気で溶いて、粘度を持たした状態で染料を入れて印刷することによって、スクリーン印刷で出せる鮮やかなデザインと、本来は染めはノリを置くので片側はモヤモヤするのですが、それが無いスパッと出た染物が出来上がるようになりました。染物とスクリーン印刷の良いところ取りです。郡上捺染として立ち上げて、いま手ぬぐいや浴衣を作っています。

郡上捺染がいいという訳ではなくて、神社のぼりとかに関しては顔料やインク、日焼けに強いものが使われます。外に吹きさらされても色あせないのが、インクや顔料です。

肌につけるものに関しては、染料の方が機能性が高いという事で、使い分けができる旗将という事になります。

今は大きなもの、拝殿幕や神社幟なども承るようになっていきます。

15年前からですが、販促グッズとして幟や幕を結構使われていましたが、今はネット広告に切り替わってきて、少しずつ規模が縮小していくような状態がきていました。何とかならないかと勉強会を何回も重ねて、染物業界がたどり着いたのが、手仕事しかできないことを守っていこうという勉強会になりました。しかし私の父が測量士をしていて、脱サラをして昭和56年に始めた歴史の浅い染屋になっているので、うちでしか出来ないこと、スクリーン印刷はほとんど機械化されて早いし安い、メリットしかない。ただ資本がないとなかなか参入出来ないという時代がきています。旗将として何が得意な所になるかと思った時は、染屋にこだわらなくてもいいのではと、柱が何本もあってもいいのではないかと切り替えました。今は3つの旗部門、消防・防災部門、染め体部門この3本の柱で何とかやっている状態です。業界としてはどんどん右肩下がりだと言われています。しかし時代がどんどん変わってきて、変化について行けない会社は、現状が良くても後10年後どうかというと、今と同じ事をしていては駄目だと思います。もちろん太い仕事があって、この先100年大丈夫だという仕事もあると思います。うちらがやっている細々としている事業に関して言うと、それだけを追求していても、上手に変化していかないと行けないのかなと僕は認識しています。本当に何をやっても大して稼げずにバタバタしている会社ですが、時代に応じて変化していきながら、

郡上の生活を楽しみながら生きていけるような会社になれればいいかなと思っています。周りからは何屋さん？よろずやさんみたいな感じになってしまって、何でも扱えますよという風に言っていますが、それぐらいいしていかないと厳しい時代かなと思っています。

先ほどの話ですが、商工会の今45歳で青年部に半分入っている状態ですが、全体の副会長もさせていただいています。若者を上手に引っ張って行く、盛り上げていけるようなことは何かと思ったら、会長世代から僕ら世代迄親子ほど離れていて、そのパイプ役が中々いませので、つなぎ役になれないかなと思って副会長を受けさせていただいて、楽しくやらせていただいています。

若い人を盛り上げていくには理解が必要だと思えます。先人の方々の理解があつての若い人だと思えますので、思い切りやってもらえれば、盛り上がっていけるのではないかと思います。僕らの世代が少なくなってきたので、力をお借りして楽しい郡上の町になれればいいかなと思っています。

宣伝になります。自動消防ホースの巻き取り機というのは、いま医療や工業の現場では省力化というのが進んでいまして、僕は消防協会に入ってしばらくして聞くのが消防のホースを巻きとるのが大変だ、力を入れなくてもいいのに結構大変だという作業を少しでも簡素化したいと思って、自分の所でトヨタの下請け企業と開発チームを作って、自動で巻き取る機械を作りました。郡上市にも1台寄贈させていただきました。各消防大会に持っていくと、皆さん良いね、使いたいという声はいただきますが、売れてはませんが、これから売り出していきたいと思えます。やはり消防団活動も高齢化で、作業負担や年なのに辞められない、次に進んでいけない時代になってきているので、少しでもしんどくないという省力化できる機械が出来ないかと思って、経産省が出している省力カタログにも載せて頂けるよう交渉しているところです。少しでも地域の防災活動、消防活動に貢献出来たらと思って作っています。

そういった形で事業を頑張っていますので、どこかでお会いしたらお声掛けしていただければありがたいと思えます。ありがとうございました。

■委員会報告

・会員増強委員会 大村太郎君 「オープン例会」チラシ配布について

■ニコBOX

ニコBOX委員会 井俣愛美君

寺田澄男君 旗将様、今晩はありがとうございます。楽しみにしております。

(同文) 和田良一君、石徹白秀也君、畑中知昭君、美谷添里恵子君、山口里美君、麦島洋介君、井俣愛美君、清水英志君、遠藤正史君

藤代昇君(同文) 寒いですね。風邪を引かないようにしましょう。

旭美香君 直井様、今日は卓話ありがとうございます。興味深いお話、楽しみにしております。

養島正人君 石徹白洋品店の店「助七」応援します。頑張ってください。

鷲見啓兒君 仕事の都合により、欠席させていただきます。

■次週行事予定

■出席報告

出席委員会 寺田澄男君

3月12日スポーツ例会(狩野靖様)

3月19日 外来卓話(山本草太様)

	会員数	出席者	欠席者	補正者	出席率
2185回	31名	22名	5名	4名	83.8%
2186回	31名	16名	11名	4名	64.5%